

参画して

(高三回生)

--	--

- 44 -

(高十四回生)

[illegible]

我が国の同窓会

時までたつてもリフトにもよう乗らない私に焦れ

[illegible][illegible]

章次
(高十八回生)

TEL・FAX 〇七八一七三一三三四

浜野圭市

一方、新学習指導要領は、総合的な学習・通じて「生きる力」(一自分自身で課題を見つけ、自ら学ぶ)が、行動し、解決する能力と定義してると聞いている。このような能力を育てる、このことを論じている。

目標をもたない無気力な子どもが増えているという。勉強の目的や将来の目標を見いだせない。リタリーを増加にもつながっていると思う。

職業生活の一端を語れば、知的や技能に駆使して、目知りやニーズに応じて目標を抽出し、実現

森多貴美子

○飛驒獅子の宙返りする
 人なるる
 ○獅子頭股ぎで祭の
 人なるる
 ○朴の葉のあつからんと
 落ちにけり
 ○平家村白き陣に
 来山山氣
 ○水廻る合掌村の唐子
 暮さる
 ○墨葺きの屋根の雪
 初しぐれ
 一月で六十五才になり
 また。ああ老人の仲間
 入りです。それでもい
 つも詩心を失わず、目
 するものに心を開いて
 ければと念じていま

○六十五歳雪降る国の
 手鞠歌

静山純一



「ビニヤマン・リソンス・ソリユーション」がメイン業務。人との関わりににおいて、高校時代の音楽部での活動が、今ベータスに生きていると考えています。大変有意義な高校生活を送った音楽部と、その友に感謝して止みます。

この拙文を読み、当時のメンバーから「集合」の号令が掛かるのを期に待って、思い出をもう一度心の奥に納めたいと思います。

高谷秀男

平成14年3月新聞部の
先輩南、正光氏より突然
自宅へ電話があり、津名
高校同窓会広報支部第
7号が発行するに当たり、
高谷君に原稿を頼むこと
になった。このようにと
の事。

先輩からの依頼で中断
する話にもいかず「わ
かりました」とつ返
事を致しました。」

その後正式な「原稿お
願い」の書面が支部長の
木田様より届きました。

これは由のことです

が いざとなればどうぞ
事を書けばいいのは新
私には津名高校時代は
部に入部して、ました
入部当初は階段の下の
狭い狭い屋が部室で休
時間になる。と先輩連
集まって、政治談話
を交わっていました。

つ上の先輩が横本部長
（現在は兼）で南氏と
先輩。その横本部長が
内会にて「現中學校
校長を務めています。

（綴とは不思議なもの）
私が2年生の時にグラン

昭和39年3月淡路信金に就職、現在に至っています。今年で勤務38年になりました。

定まらずであと4年になります。また自分でもちえみ曲がりなりにも「よくやうやう」でしたあります。思ふ事がしばしばありまして、周囲の人の支えがあつての事と感謝感謝の毎日です。

淡路信金にはいつて一番恐ろしい経験は富島支

すべしといふのか。それ様のこと・支店のこと望んで。北淡町の焼酎屋が老若男女あわせて39名と島内で一貫多く、家族の方々々々の身毛の思ひ出が致します。当日の商店街は足元の踏み入れ場所も不足の側で道路が塞がると住民は遠方になりまして。その後興は進んでいます。彼等は残ったく後遺症は今なお続いています。この震災の体験も私の人生の中上位で最も私的な出来事です。



今私は母校のある津名町の志筑支店に13年4月から勤務しています。母校には同級生の高田先生・志筑に同級生の沢山先生・これからは人生・人間と多くの方々と仲間で増やし人とのふれあいを大切にして協力をお願いします。津名町へお越しの節は是非お立ち下さい。

(高六回生)

還曆を迎えて思うこと

…
雜感

岩井吉人
(高十二回生)

小生、本年還暦を迎えることになりまし。今、六十才を迎える時、種々自分の今までの考えてきたこと、これからすること複雑に思い起す此の頃、今まで病氣一つせず、四十一年間大過なく勤めてきました。が、そろそろ病いに対する心構えをしないといけない、と、徒然に思うことは、生命保険はどうなっているのか？入院時の保険は、どのくらいになるのか？近将来になると思う病いへの対応、妻子に迷惑をかけるまいな、これではいけない、等々思うとき、

が、一般的なサラリーマンの方よりも若く長年に勤働けることに甘んじておき、今までの勤め仲間、第二の定年退職を待たない、そして第三の定年退職を迎えるまでに、定年後は地域社会のたのびボランティア、又は残少少のボランティアを心豊かに過るべき、何が良いかを模索し、心着知識を深めていき、心着たにして還暦後の生活をい出し出している。最後に、同窓会を主催し、人を多くもちろ老後生活環境の充実につき語り合う、日々である……。

春の便り・海の幸

洪谷節子

で三十五年、年を遂ぐに思ひ散れど旧友が懐かに連れ合われず。
淡路、関する文字や映像は、素早く飛び込んで来ます、食ひしん坊の習性で、今頃は何かが知す、等と思ひ巡らせます。

折しも神戸から幼な友達と叔母が丹精込めて煮上げた、春の便りのいかなごの釘煮を送って下さいました。

も奥が深く、その人の性格も表れますし、運に左右される事も多いのです。姑の場合は正にそれで、ただ揃えるのが面白くて

信州人で、海の幸には馴染みの薄い鮎船十三の姑も、文字通り釣の様に固い血氣が大好物です。世に言われる、八〇・二〇運動の場合は、九〇・二五の丈夫な齒の持主です。又この人は麻雀

自分が分かり易い上り方です、時にはチョロをばしますが、ついでに時は、大勝ちが、ついでに時は、私にきれいな手を作りたがり、それで上った時は持ちこたよくて、時に主が振舞い込んだ時を是大声でロー

スマイルあんど
スマイル

高谷 恵美子
(高十八回生)

残りて欲しいとの親の期待に背いて淡路島を離れて二十年。数箇所の職場を経験した、大阪府茨木市・保寿所に就職したのが昭四十八年。それ以来今までちつちやな子どもも出来た生活が続いている。子ども達は、その無邪気さで私達を和ませてくれる。エネルギーを手とくくれる。しかしながら良いことづくめでない。子どもの顔顔の色が向こうには、不況リストアップ、家庭内暴力、虐待といった現代的な問題と保護者たちという現実的、破壊者となつてゐる。自分力ではどうも。こんな力でよく相談を受けるが、なとき、私にできるといふは、「聞く、聞く、聞く」と聞いてあげることが無い。でも、この

妻の死、人生悲喜

こもぐも

森 章次
(高十八回生)

別養護老人ホームで、おむつを縫ったり、洗濯物をたたんだりのボランティアを八年くらい続けています。そこで又ボランティア友達が出来て、遊び友達へと展開して行くのも楽しいのです。

今日も愛車のピッツを駆って第二国道をフラシ、水井の歌を（古いですが）口ずさみながら会社から帰りに買物を済ませて姑の待つ我が家に戻りました。

私の誕生日は23年4月24日です。先日の54歳の誕生日の前日に最期の妻詩子に突然先立たれました。妻はまた53歳でした。脅すわけではありませんが、皆さんにもこんな不幸がいっしょにならないとも限りません。私の人生悲喜することも少し紹介しますの、これからは皆さんの人生観に生かして頂ければ幸いです。

詩子とは私の半生時代、スキー場で知り合い、の

は何となくと愛着の日々でした。私の顔からどた顔が消えました。これが10年先なら何のたまりないもなく24時間たつていってもあけても、今はそれでいい生活です。若年性痴呆での特殊な病相相談できる相手も限定された、種々悩ましい。

直接の死因は、私も自暴自棄中に、浴室内でその高血圧性の急性心筋梗塞でした。その時も心臓がショックですが、伏線が



るける訳ではありませんが上品な明るさに惹かれて結婚しました。私と違って、感性豊かで一番の趣味は陶芸でした。趣味はいえ自宅に大きな窯を備え、三宮北野坂キヤラリなどで何回も個展を開きました。

ありましたので、比較的に冷静に喪主も務めることができました。沢山の人が会葬してくださいと盛太は告別式でした。ありがたうございました。

妻とは頭より「日々を幸せやデ！ いっ死んでや、いっ死んでや」

○●●●●●

ランドスマイルとにかく私は、笑顔がパワーを生み出すのと信じています。毎朝、鏡の中の自分に向かって笑いかける。つらい時、悲しい時は子どもたちを思い浮かべるとあれほど活動的であつた

○●●●●●

も。良人生やん生き死のん。そんな生き方。心。二。人。行。度。々。互。い。良。き。理。解。者。あ。つ。た。思。い。ま。す。妻。は。一。良。い。人。生。や。つ。つ。と。言。つ。て。運。つ。た。と。確。言。し。て。い。ま。す。私。も。確

笑顔は、私の大事な、大事な宝物です。いくつかのピンチもありましたが、何とか乗り越えることができた。年輪のこぼれは、人生の折り返し地点も過りましたが、まだまだ現

創作意欲が萎え、家の掃除も一切しなくなり、表情も乏しく、かの輝きも失せてきたのだ。更年期障害やうとの軽いいなし事態は時と時に深刻になりました。昨年8月の神戸大付属病院での

沢山の役割がありまして
一言で「妻」と言っても
女、母、随ひ婦、友、秘
書などの役割とも言い表
せない。存在そのものが
いなくなつたのが一番
寂しく思ひます。ヒト気

役で、子ども達に聞かれ、若い保護者や保育士とも、に、悩みにともに笑う生活を続けていこうと思っています。

診断はビク病とやらで不治の病、かつ進行すると宣告されました。記憶障害はさほどないのですが人格が変わるのです。

青天の霹靂 私にはこの深刻な事態を受け入れることは到底できませんでした。それから毎日の

のな、家には帰りたい、という心境でもあり、

詩は、金はなくとも心は豊かで「歳をとつても、お洒落な可愛いお婆ちゃんになるよ」と言う反面、「私が先に逝つたら、遠慮いらんから若い



正木 八郎(高六回生)

〒656-2131 津名郡津名町志筑三一六八
TEL (〇七九九) 六二一一二二三

保宗幸夫

〒655-0884
神戸市垂水区城が山五―十一五
TEL 〇七八―七五二―五二〇五

尾崎田鶴子
(高六回生)

〒566-0001 摂津市千里丘四―十三―二七
TEL 〇六一六三八九―四〇七〇

古土井 和佳子

〒652-0004 神戸市兵庫区楠谷町三〇一五
TEL 〇七八一三四一―二三〇八

坂東章好

TEL 〇七二〇一四七一六九〇四

岩見恵

大阪市天王寺区石ヶ辻町六一
TEL〇六一六七七一―一二九四

（高六回生）

FAX 〇〇六六九一〇〇四

(高六回生)

TEL 0781-331474

(高六回生)

TEL 0781-5931145



竹資源

中田晴繁
(高十七回生)

森林は、木が成長するスピードの数の速さで消滅しているらしく、このままでは、百年以内に地球上の森林すべてが消滅する計算になると懸念し、木に代る資源価値として、「竹」に目を向け、竹資源開発に取り組む起業した、素晴らしい知人の紹介を致したく思います。竹資源の開発と言う現代・竹取物語の主人公は、高知県出身で一介の竹細工職人から、身を起したSさん61才です。「学力が無い」とは日本人の言だが、竹を素材とする独自の発明は「発明協会賞」から「創意工夫賞・科学技術長官賞」「中小企業輸出振興協会賞賞」など多くの賞を受賞し、今は「竹資源総合研究所」を主宰し、本人は国内でも、竹の産地である東南アジア各地域からの竹素材からの技術工業化の相談とか、技法指導に大忙しの毎日である。Sさんと私の出逢いは、20数年前になるが当時、エジソンが白熱電球のフィラメントに、京都、岩清水八幡宮の竹繊維を選んだのは御存知ですか」と質問されたのをきっかけに「私は今竹下総理誕生前の経世会メンバー用の竹バナー」の製作中ですと「アイサツされ、私としては隣時にSさんに野次馬的な興味で湧き、厚くましくもパンパーターを所望

練習場の珍客たち

北川映子
(高十五回生)

神戸市に、子狐・うりばう・狸などの珍しい来客に出会えるゴルフ練習場がある。知っている方いますか？ 秋から冬にかけて毎年現れ、すぐ目の前で可愛い姿を存分に見せてくれます。山の動物の思い掛けない光景に、もう感激です！
秋の夜、20ヤードを示す看板の辺りをちょこちょこ行き交う物体が、突然ライトに浮かび上がる。よくよく見ると、うりの模様のうりばう、4匹！盛んにボールが飛んでく

し、願いがかなって以降竹の知識吸収に努めさせて頂くようになります。少し披露させて頂くと例えば「竹の防腐効果」について、竹皮は肉類等の包装に使われその防腐性は昔から知られていた事。「竹葉の消臭効果」ではバンダの葉は臭わな

を保っていた。ここから竹取物語の主説となる。(室井耕農博士の著書「竹を知る本」を引用させて頂く)類稀な美しさをもったかぐや姫は、本当は翁夫婦が高令にもかかわらず生んだ実の娘であつた。しかし、あまりに年をとりますぐてから(88才の子供という恥ずかしから、竹から生れたことしたのであつた。このことは、日頃から竹に宿る、竹紙、竹紙を撰

悩める団塊の世代

夫婦岩 実良
(高十八回生)

津名高校を卒業して35年が経過しました。本当年が経過しました。本当年に早いものです。堺屋太一氏に命名された我々「団塊の世代」は戦後、生まれ、学生運動で世の中を騒がせ、キャッツアプ時代の中で高度成長期を支え、バブル成長を引

「スポーツクラブ21ひょうご」について

東田雅俊
(高十六回生)

2年ほど前ひょうごとからゴルフを始め、裏六甲のこの練習場でレッスンを受けている。珍客たちには負けず、通っている生徒も多彩で、楽しい人間模様を繰り広げている。プロを目指している高校生、夫の定年後夫婦でゴルフを楽しむたいに皆にコピーを寄るコヒーパーティを開くおじさん、女性を物色して回る危ないおじさん。78歳のミニスカートでプレイするあちやんさんなど、陽気な仲間です。幾つになっても新しいことを学んでいくのは実に楽しい。腕を磨いて、津名高OBのゴルフの会に参加できるようにしたいと頑張っています。

郡 益彦 (高六回生)

北淡町元助役
会長 栗田智之
(高六回生)

意外ともつた紐は解けるのではないだろうか。私も50歳代に突入してからは、人生観が大きく変化し、40歳代のような肩の重みはなくなったように感じます。みなさんはいかがでしょうか。それだけに、次の世代を育てるというスタンスが強く求められていると思っ

と地域コミュニティの再生を目指しています。平成13年度末までに24クラブが設立され活動を開始しており、「のじきく兵庫国体」開催年の平成17年に全37クラブの設置が完了予定で、県民総参加の新しい国体の担い手となることが期待されています。

この兵庫での試みが、私共のスポーツライフに大きな変化をもたらすことが予想されます。ぜひとも皆様方にも、「スポーツクラブ21」に注目していただきたいと思

津名高校
六回生有志一同

薄木法律事務所
弁護士 薄木昌信
(高七回生)

平松 忠
(高八回生)

狭山 剛志
(高八回生)

柴生 進
(高十回生)

川西市長
役 所

国本 竝功
(高十七回生)

国本 竝功
(高十七回生)

国本 竝功
(高十七回生)

国本 竝功
(高十七回生)

円周率の思い出

南原英生
(高十七回生)

貴「万国つくりシム」
というテレビ番組がありました。その番組に、特別な技を持った方が登場して、それを披露するところ、なかなかの人氣が湧くようにと記憶しています。高校生の頃、その番組「円周率」を何千何千（あの数字）を何千何百（あの数字）も暗記しているという人が登場したとありますが、私も、それまでに円周率には特別な興味を持っていて、これは小学生の頃のことですが、茶筒の直径と円周を測り、その比が3.1が求まると嬉しかったことがあります。また、小学生の頃は、紙に何何かの直線を平行に引き、その紙に投げた針が直線と交わる確率から円周率を求まるとことを知りました。後に「ピュッホンの針」という有名な問題と知る。その時は実際に針を五千

回くらい投げて実験してみました。当年的結果が求まりました。本当に結果が求まらなかったの不思議さに感動したものです。その番組に非常にごき早く挑戦してみることになりました。さて、4枚ずつ区切って覚えていったのですが、結果は散々です。わず、300枚くらいでギブアップしてしまったのです。しかも、テレビに登場した方は司会者の注文に応じて何何からでもスライドできるのに私はというそれでもできませんでした。一氣に言うってしませんでした。途中で声をかけられたりすると、最初からやり直さなければならぬのです。自分の記憶力の限界を知られたことでショックでした。それから三十数年が過ぎ、ふとここから4万枚を唱唱し、ギネスブ

卒業後35年の今

田廻茂
(高十八回生)

必死でもあり、そうでもないようでもあり、気がつけば自分の子供供員分が卒業した時の年齢を越えており、時の流れの速さを実感してきます。

私は、卒業一年後から公務に就き、以来、7回の転居と15回の転任を経て、地に足のつかない生を送ってきた。その時々を通して、

卒業して35年、その間の出会いの再会、新しい人と職場の中での新しい人との出会いの出会い、新しい職場での仕事に取り組み、成長期を一緒に過ごした同級生等と一緒にいるとお互え等かへて今日に至っています。これまでの7回の転居で、唯一昭和と50年から58年の8年間とは、島内地方、三原にある法務局勤務しました。あるところの豪邸神門、滋賀

クにも載った方がおられるというところを知りました。しかも、私の私と同じ54歳の時のなか、その記録はやがて大学生になると破られたら困るから今は70歳で54桁に挑戦中とのことで、その戦中との、だから今を戦うのだと、その方「記憶のつづは暗闘」ではなく、だから年をとることで、どんなに戦うとしても、むしろ有利だと言われるのである。

最近、名前が出てこない、新しいことと挑戦できないと記憶力と気力と衰えを年齢のせにしてあきらめています。でも、もう一度四苦八痛を挑戦してみようと思っています。

今後は「理想」を働かせ「連想」を楽しむ、せめて千桁は覚えたい、せめて、記憶力に対する苦学意識を克服しあ当時の50桁が今も果たっているので、51桁から58209・小星置くことと格闘中の昨々です。さでとうなりますか。因みに現在の暗記記録は42桁、計算される5桁の数は26億384万桁だそうです。

桜に思う

南正光
(高十四回生)

今年の桜の開花は、昨年より一週間程早かった。私は、桜の名所であった池田市五月山公園の近所に住んで早や二年が経過した。

桜の種類には、シゲレザクラ、オオシマザクラ、ヤマザクラなど種々あるが、代表的なのがソメイヨシノである。このソメイヨシノの誕生は、江戸時代で江戸の柴井村（現在の東京都豊島区駒込）で、植木職人の伊藤兵衛が種木神のエドヒガンとオオシマザクラを掛け合わせて作ったといわれている。今年も恒例のように四月六日（土）に友人達と共に池田市五月山公園で、夜桜見物の宴を催した。池田市の銘酒「呉春」（日本酒）のコップ

酒に桜の花びらに飲んだ花びらと共に一気に飲んだ。ほろ酔い気の中、子供達の走り回る様、脳裏に浮んだ一五穀豊穡・神津・のリスミヤルな掛け声に合せ「ト小気・ト・ト・ト」と小気味よく太鼓が打鳴らされる。私の故郷、熊本県津市郡一年町柳沢に岩上神社。毎年4月上旬に春の祭礼が催される。真紅の大きな座布団を何枚も重ねたダンジリが若手神社の境内を練り歩く。小学生的の低学年頃のダンジリに乗るのが夢だった。この夢は小学六年の時に実現した。祭礼の岩上神社の境内では、桜の花の下で大人達が、桜の葉を片手に赤ら顔で手拍子をし、大声で「談笑」していた。

野先生（故人）は、男子も、行財政改革を基本と

[illegible]

今、わかる

上田晃正
(高十四回生)

中学校の教師をして三十五年が過ぎました。若いころをとおんなじことでもすつと解決できるのだと思いましたが自分がその年令になると考えれば考えるほど、やれやれは大きな憂になってきます（これが教育なんだ）。三十五年のうち同和加配が八年、不登校担当が五年ありました。この係をしていろんなことがわかるようになり生徒や人の見方が大分変わりました。この年になっ

てわかったことのひとつは（はずかしく生んですが）私たちの良いところを見つけてよいといえます。最近まで私も言っていました、よく考えるとこれは人には良いところ悪いところがあるというところが前提になつたように、実は人には良いところ

は良いか悪いかなどはなくそれをどう見るかの違いです。私は人をよくよく見ていたいのですすがなかなかいい人ばかりではないので、今自分がやらねばならぬことに一生懸命取り組むひと人が良いように見えたりするということですから、人をよくよくに見ることで自分も人に良く見られ結果として充実した日を送れるようになります。私も臆やりにがんばらないことに全力で取り組み努力してやるべきではありません。そのほかに「ぼめる」ということは、どういふことか。思いやりとは何かとか今頃なっても自分なりにわかり納得できるうちに安んじておちついてほしい。今後これがわかったことを少しでも

村上

神戸市垂水区西脇一―一―二二
TEL 〇七八―七八三―九〇〇六

事務所
〒530

TEL(06637117133(代表)
FAX(06637117244

山崎

神戸市東灘区住吉南町五―七―七
TEL 〇七八―八四三―三一五〇

学校法人 八代学院

岩井吉人(高十二回生)

神戸国際大学

〒650-0001 神戸市東灘区向洋町中九丁目一番一
TEL 〇七八一八四五一一三一

経済学部・経済学科(男・女)

神戸国際大学附属高等学校

〒653-0001 神戸市垂水区学が丘五丁目一
TEL 〇七八ー七〇七一・二〇〇二
〔普通科〕・〔国際科〕（男子）

コメルシオ・コクボ
真珠輸出・卸

小久保 澄夫
(高十三回生)

株式会社
田中不動産

代表取締役 田中種義
(高十三回生)

南
正
光

(高十四回生)

大阪府池田市五月ヶ丘三ー一四
TEL 〇七二七ー五三一ー四五八

津名高校

十七回生有志一同



